

「松ヶ丘の点景 No.29」 R7.12.26

12月26日(金)今年の暦では、今日が仕事納めになります。昔(昭和の時代)は、この日は最後に年越しそばを雑談しながら食べ、年末のご挨拶をして帰路についたことを思い出します。

そんな日の本校の様子は、野球部が市内の4保育園14園児を招いての「野球教室」を行っていました。あいにく寒風が吹き細雪がちらつく寒い中でしたが、園児も高校生もボールとバットを持って、歓声を上げながら野球を楽しんでいました。また、体育館ではバレーボール部と女子バスケットボール部が、寒い中練習に励んでいました。また、農場では年末ですが職員が管理作業にあたっています。

農場入口の白樺の木と樺、果樹部にある銀杏の木と中央農道の銀杏並木、また土木棟横のモミジバフウとメタセコイヤの木もそれぞれ大木となり、今も変わらず農場を見守り続けています。いずれも「松ヶ丘農場」にあった昔の科のシンボルツリーです。また「県工の小径」も、静かに新年を迎える雰囲気でした。

来年・令和8年の干支は“うま”ですが、情熱的で強い意志を持つと言われる60年に1度巡ってくる“丙午”的年です。また創立20周年記念事業を行います。

令和7年は保護者をはじめ地域の方々に大変にお世話になり、ありがとうございました。

令和8年も相変わりませず益田翔陽高校をよろしくお願ひいたします。



県工の小径（考える人・校訓の石碑）



左手に モジバフウ と メセコイヤが見えます



グランド



中央農道のイチョウ並木



農場入口左手 白樺



ともに大きくなりました

入口右手 樺

